

清里フォトアートミュージアム(K・MoPA)展覧会のお知らせ

自然写真家・西村 豊 2021年度長野県教育委員会賞受賞記念展

「八ヶ岳の森から ― 心に残るたからもの」

八ヶ岳をフィールドに40年間活動してきた自然写真家・西村 豊の
2021年度長野県教育委員会賞受賞を記念して「八ヶ岳の森から―心に残るたからもの」を
7月16日(土)～8月31日(水)まで開催。
代表作〈ヤマネ〉シリーズの他、近作を含めた16点を展示します。

いつもと違う目線で何かを<見る>時、それまでとはまったく異なる世界が見えてくることがあります。日常生活で目にするものすべてが西村氏にとっては「心に残るたからもの」。野生動物や自然の神秘を目の当たりにし、シャッターを押した瞬間を分かち合いたい、そんな願いがどの写真にも込められています。長野県内で長年行ってきた、写真を見せながら行う西村氏のレクチャーは、多くの若者に示唆を与えてきました。これまで3回西村氏の個展を開催してきた当館は、この度の長野県教育委員会賞受賞を記念し、西村氏の写真の魅力をあらためてご紹介します。

■西村豊・略歴

1949年京都市に生まれる。1972年、23歳で長野県へ移住。撮影だけでなく、怪我をした野生の鳥獣保護に取り組み、40年間に救護したのは、キツネ、タヌキ、イタチ、ムササビ、ヤマネなど10種類300頭以上。地元の高校生らに救護方法を教え、後継者育成にも取り組んでいる。2016年、野生傷病鳥獣の保護・野生復帰活動の功労者として日本鳥類保護連盟会長賞を受賞。長野県富士見町にて、長年にわたり小学校・全学年の「自然教室」を担当し、長野県の自然観察インストラクターをつとめた活動が高く評価され、長野県知事より感謝の表彰を受け、2021年度長野県ふるさとの森林づくり賞 森林環境 教育推進の部「長野県教育委員会賞」を受賞した。公立諏訪東京理科大学非常勤講師。



■開催概要

展覧会名：西村 豊「八ヶ岳の森から―心に残るたからもの」

会 期：2022年7月16日(土)～8月31日(水)

休 館 日：会期中無休

会 場：清里フォトアートミュージアム

開館時間：10：00～18：00(入館は17：30まで)

入 館 料：一般 800円(600円) 学生600円(400円) 高校生以下無料

()内は20名様以上の団体料金 家族割引 1200円(2名～6名様まで)

交通のご案内 車にて：中央自動車道須玉I.C.または長坂I.C.より車で約20分

J R：中央本線小淵沢駅にて小海線乗り換え 清里駅下車、車で約10分

407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545-1222 清里フォトアートミュージアム

Tel: 0551-48-5599 www.kmopa.com

同時開催：収蔵作品より「原点を、永遠に。」7月2日(土)～9月25日(日)

米・サンディエゴ写真美術館へ巡回した展覧会が清里へ“里帰り”。153点を初公開。

写真上から：

<ヤマネ>1986年

《虹色に輝く飛行機》2016年

《氷の花》2018年

©ネイチャーフォト

プロダクション